

阿木小だより



「新型コロナウイルス感染防止対策」の更なる徹底について

岐阜県に適應されています「まん延防止重点措置」は三週間の延長となり、3月6日までとなりました。県内では、連日1000人近い感染者が報告され、東濃地区でも感染拡大が続いています。市内では比較的少ない現状にありますが、他市では、児童・生徒の感染が多く、学級閉鎖も頻繁に報告されています。全国的に、幼児から高校生、20代といった若年層への感染が拡大している傾向があり、子どもや家族が感染、または濃厚接触者となり、教職員が出勤できなくなる状況も起こってきています。

このような状況を受け、文部科学省からは感染防止対策の更なる徹底を求める文書が発出され、これを受け、県教育委員会や市教育委員からは様々な対応について通知が届きました。対応のほとんどは、既に行っていることですが、新たに行うことになった内容もあります。保護者の皆様には、学校で行っている感染対策についてご理解・ご協力いただきたく、今回徹底された内容をお伝えさせていただきます。

- 風邪症状がみられた場合は、症状がなくなるまでは自宅で休養するよう指導すること。
- 発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪症状、普段と体調が少しでも異なる場合などは、本人は勿論のこと、同居家族についても登校・出勤を控えること。
- 原則としてマスクを着用すること。
- タブレット端末を持ち帰らせ、オンラインでの在宅学習支援に備えること。
- 小学校の教職員については、予防的PCR検査を実施（月2回程度）すること。
- 学校は、感染防止対策の実施状況を県に毎週報告すること。
- 保護者に対し、家庭での感染防止対策に関して注意喚起すること。



健康チェックや換気の徹底、こまめな手洗いや消毒の実施、給食時の黙食、感染リスクの高い学習活動の制限なども改めて通知されましたが、阿木小学校では既に行っています。また、子どもたち同士で声を掛け合い、密を避けたり、手洗いや消毒を行ったりしながら、自分たちで感染防止を行う姿もあります。

ぜひ、ご家庭でも、手洗いや消毒、うがい、外出時のマスク着用や人込みの回避などについて、引き続き意識していただきますようお願いいたします。



【タブレット端末の持ち帰りについて】

中津川市教育委員会からは、「小学校4年生から中学校3年生までは、基本的に毎日持ち帰ること。小学校3年生以下については、学校の状況に応じ、週1回以上は持ち帰ること。」という通知がありました。これにより、阿木小学校でも、今後（2/21〈月〉からの予定）、これに準じた持ち帰りを行っていきます。学級の中で感染が確認されると、当該学級は学級閉鎖となります。いつそのような状況が起こるかわからない現状で、「子どもたちの学びを止めない」ということからの緊急的な措置です。

持ち帰ったタブレットは学習にのみ使用するよう指導しますので、ご家庭でも見届けをお願いします。また、毎日持ち帰ることで、タブレット端末の破損が心配されます。端末の扱いや管理について学校でも指導していきますが、ご協力をお願いします。